

夢の日本、夢の旅

周天宇
翻訳：呉超

日本に対するイメージは殆ど日本の漫画とアニメーションから得たものである。漫画を通じて、元気に溢れて活力と古典的美感の持つ日本が読み取れ、このような日本に憧れている。いつか日本へ行ってその独特な魅力を感じようと思っていた。この度の旅行は夢が実現できたという旅である。そして日本はわたしをがっかりさせなかった。日本にいる6日間に、あちこち行ったり来たりして時々「さすが日本だ」と感慨していた。楽しいことがいっぱいあった。ここで少し選んで皆様にシェアしたい。



ANA の機内食。食欲が出るよ。いただきま〜す。

昔、日本は静かな国であり、人々は公共の場所で大声で話をしないとよく聞いていた。最初は信じられなかったが、成田空港に着いたところびっくりした。本当に静かだ。電車に乗る時、車内で携帯電話を使う人があまりいないし、街を歩いている人々も大声で談笑したりしていないし、自動車もあまりベルを鳴らさないことに気が付いた。日本にいる6日間、自動車のベル鳴りが2回しか聞かなかった。それに、ゴミ箱も掃除作業員も少ないし、ゴミが殆ど見えない町並みから、日本人の国民素質の高さを深く感じられた。

日本にいる間に、買い物した時、店員の礼儀正しさもとても印象深かった。ある日、ヨドバシカメラで買い物し、外は雨だった。店員のおじさんがわたしの買った商品をしっかりと包装し、水濡れ防止用のビニールも付けてくれた。キャッシュの店員は精算を行った後、中国語で「謝謝」と言った瞬間、わたしはとても親切に思った。日本に行ったことがある友達はよく日本での買い物が快適だと言っている。今回の旅行でやっと自ら体験することができた。

京都行きの新幹線乗車券

京都へ移動する途中、日本はこんなにきれいだったら、実験を通じてそのきれいさを試してみようと突飛な考えが浮かんだ。するとティッシュを1枚床に敷きガーンガーンと踏んだ。取ってみてきよんとした。本当にきれいだったと証明できる。その場で再びびっくりし、さすが日本だと感服していた。

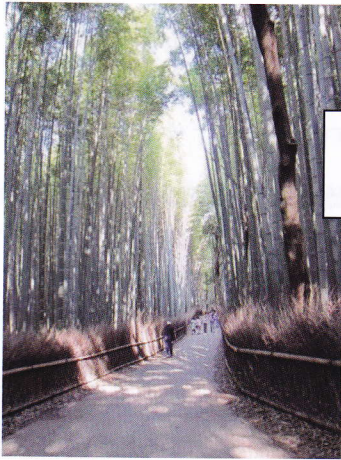
日本がこんなにきれいならきっと理由があると思う。湿潤な気候が不可欠であると同時に、緑化の幅広い展開も肝心の理由となった。新幹線に乗る際、窓から眺めた景色は緑がいっぱいだった。樹木は空気に含まれるホコリの削減にとっても役に立つので、日本の地面を清潔でちり一つないようにすることができる。



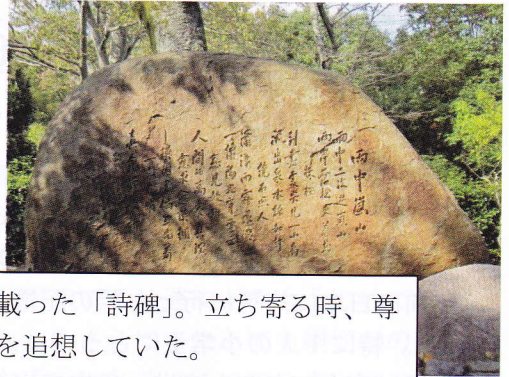
京都紀行



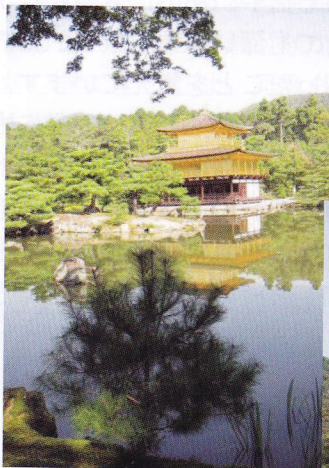
京都は「日本風」が溢れる。
KITTY ちゃんとミーニーちゃんは着物を着ている。



嵯峨野の竹林。禅の雰囲気溢れる。



周恩来首相が書いた詩の載った「詩碑」。立ち寄る時、尊敬する周恩来首相のことを追想していた。



左：金閣鹿苑寺
下：清水寺
この2つ有名な観光地は建物そのもののほか、その庭園も鑑賞される価値がある。



千本鳥居
日本国内ないし海外でも有名な「千本鳥居」が伏見稲荷大社の域内にある。ここの鳥居は非常に数多くて1万本以上あると言われていて、鳥居から構成した「トンネル」を通ったら神様の領地に踏み入ったような気がする。



伏見稲荷大社
見学に行ったとき、ちょうど「御鎮座 1300年奉祝大祭」があった。いろいろな活動があつてとてもにぎやかだった。



二条城
徳川家はここで豊臣家より権力を受けた。同じここで徳川幕府は「大政奉還」を行って大政を朝廷に返上することがあった。歴史の盛衰はここで始まり、またここで終わった。二条城を散策し、精美である梁と棟を見たとき、なんと昔に立ち戻った感じがした。



よく見られた「がんばろう日本」のほか、「節電中」のスローガンも多かった。日本人の心強さに感心している。中国語では「衆志成城」という言葉があり、一致団結すれば大勢力となり、どんな困難でも克服できるという意味である。
がんばろう 日本！

短い6日間に、今までのなかった楽しさを感じられ、日本に対する理解が含まった。今回の旅行はとも忘れられなかったことである。

日本の旅で感じたこと

藩暁亮

私は、呉超同窓会会長からの電話を受けた時、初めて今度の“夢の旅”のイベントを知りました。18年前に日本に旅行に行った際の記憶が浮かびました。当時、外国へ行くのは容易な事ではありませんでした。特に1人の小学生にとっては。今思うと、あの旅行は本当に夢かまぼろしだったのではないかと、思います。あのときは、日本で出会うすべての事が非常に目新しく、あの時の私にとって、本当にめまぐるしい経験でした。私にとって比較的深い印象を感じたのは、街のあちらこちらにあるいろいろな自動販売機でした。また、たくさんのおもちゃをきれいに並べて売っている店や、あのにぎやかなディズニーランド。あのときの旅行は、私にとって、日本の先進性に対してとても深い印象を残し、そのために、帰国後の私は、かなりの間、毎日毎日、両親や友達に“吹聴”して回ったことを覚えています。18年後に再度日本に来て、たまたま探し当てることができる当時の印象を除いて、全く新しい感覚をもちました。今度の日本の旅で、私がまず第一番に感じたことは、ものごとすべてに秩序があり、組織的に整然としていて、人々はみな規則正しくきちんとしていることでした。自分の行動を段取りよく事を進めているのです。これに関して私が最も印象的だったことをあげるとすれば、それは京都の公共交通

バスでした。京都で、私達はすべて公共交通のバスに乗ってみました。ここの公共交通では、停留所の立て札のところに、いつ次のバスがくるか、という表示が時刻表とともにあり、それが全く正確なのです。私達が観察したところ、バスの到着時間の誤差は基本的にすべて1分以内でした。これは、全く信じ難いことでした。京都のバスは見たところ多少古くなっているのですが、すべて非常に整然としているのです。その上、中の施設は下車する際とても便利で、車の中のすべての位置に次の駅に止まる、というサインがあり、下車する押しボタンがあるのです。小銭をもっていない人には、両替する貨幣装置がありま



す。公共交通バスの運転手さんは、運転しはじめるときも10点満点の優雅さで車を運転し、とても安定

的で、突然の加速或いは急ブレーキはありえないのです。もう一つ、私の印象に深く残ったことは、日本の通りの様子です。多くの人が言うように、日本の大通りはとてもきれいです。しかし私はきれい、という言葉ではその様子は十分に表現しつくせないと思ったのです。にぎやかな商業街、まだ静寂な郊外でも、ビル、まだ一軒一軒の民家でも、ひとつひとつの商店でも、塀で囲われた庭付きのすべての住宅でも、みんな、人にとってもきちんと整った感じがするのです。特に京都の民家はほとんどすべてが、一軒ごとに大きくはないのですがぜんぜん窮屈ではなく



しかし少しも乱雑な感じがないのにもかかわらず、実は相反して、家ごとにすべてそれぞれに同じではなく、家並みは実はまちまちなのだがしかしそこにはなにか秩序がある、という感じなのです。家はみなとても古いのですが、しかし一軒ごとにすべてとてもすがすがしく整然としているのです。

今度の日本の旅で、私がある第2の感銘は、日本人の友好さです。私の印象に最も深いのは、私達が京都に遊びに行った時、1つの店で休憩した時のことです。お抹茶を2つ頼んだのですが、竹でできたものが一緒に出てきて、私たちはその道具をどのように使うのか、さっぱりわかりませんでした。すると、私たちの様子を見ていた隣の机のおばあさんが自発的にやって来て、私達にどのように竹でこすってお茶の中で泡を立てるのかを実際にデモしてくれたのです。しかもさらにまたとても親切なのは、私達にいろいろと日本の茶道の知識を教えてくれて、出発間際になる前に私達に1つの小さい贈り物をしてくれたのです。このことは、私達をとっても感動させました。私達は日本に対してあまりよく知らないため、その上日本語を知らないので、道中はよく人に道を聞きました。私達が尋ねた人はたくさんいました。私達の言葉がなかなか通じないのですが、すべての人は非常に親切に私達を助けてくれて、甚だしきに至っては、何度も、すべて自ら数(何)百メートルも私たちの行き先への道を案内し、私達に道を教え終わり私達が正しい道を探し当てたことを確認してから、また折り返して帰っていくのです。もし、自分が道が分からなかったら、私たちの代わりに他の人に聞いて、再び私達に教えてくれるのです。私は、もしこの人たちの助けがなかったならば、きっとこんなに順調な旅をすることはできなかったと思っています。

帰国前、後援会が主催してくれた送別晩餐会の席上で、江原規由理事長は、交流の意味は自分の目で実際に観ることです。他の人と自分が異なる場合でも、その異なることを許容することです、と言いました。今回の旅行は、私を日本と日本人に対して更に深く更に直接的な体験を通して理解をさせ、同時に私は多くのことを学びました。私は、もっとこのような気持ちを抱くことができるよう、世界のたくさんの国の人と交流をしたいと思います。



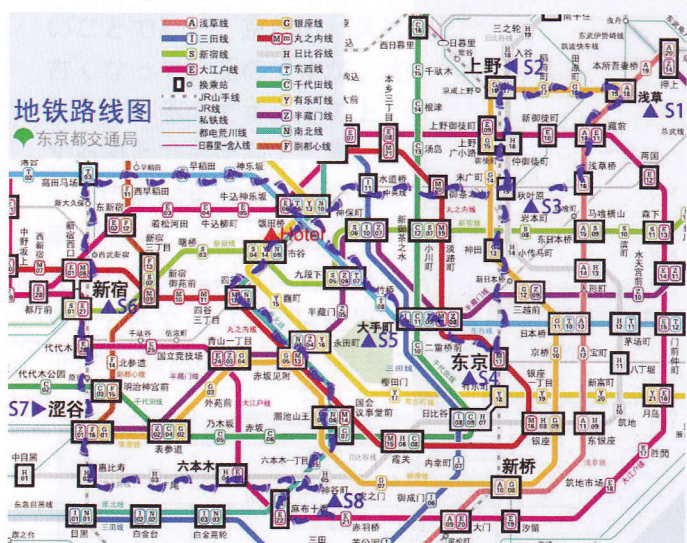
私の東京、京都の旅

張静

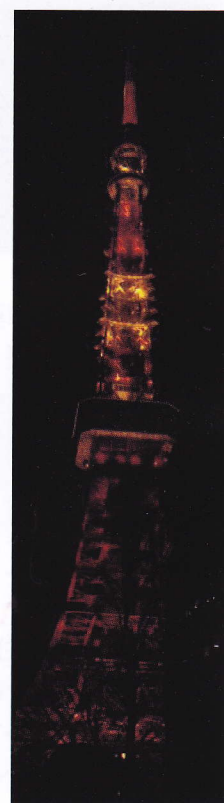
今度の日本の旅は、私にとってとても大きな収穫を得ました。旅人となって日本人の生活の雰囲気を感じられ、日本人の厳格さや、心からの親切を理解しました。また一方、私は深く東京という都市が好きになりました。今度の日本の旅は、順調に旅することができて、特に江原孔江理事と肖輝理事の助けに感謝しています。そして友人の潘晓亮のおかげで、私にこのような機会をいただいたことに深く感謝します。

どうもありがとうございました

東京は人を魅惑する都市で、きれいできちんとしていて、にぎやかで、忙しくも秩序があって、すばらしいものが数多くあります……東京は私の行ったことがあった中国のいかなる都市とも異なりました。東京の街路は色とりどりで、それぞれの店の名前が、それぞれに秩序正しく並んでいて、しかもそれぞれの個性があり、乱雑ではありません。街路にはたくさん人がいて、大部分人はとても急いでいるのですが、騒がしくなく、とても秩序があります。青信号の時は、こんなにたくさんの人たちがぶつかりあうこともなく道路ですれ違ふことができます。私はその様子に驚くとともに、なんだか奇怪のようにも思えるのですが、とてもおもしろいのです。日本の地下鉄を利用したときもとても驚きました。すごいです！入り組んでいる10数線の路線がありますが、地下鉄の駅を探して乗り換える時、すべてとても便利で、私達のように完全に日本語ができない外国人も気楽に旅に出ることができるのです。これも日本に多くの漢字があるのおかげで、中国人にはやはり分かりやすいです。私達は、今度の旅行の日程の予定を立ててきました。そして、私は路



線図の上に私達の足跡^①を表示して、行ったところを表示してみました。私達が浅草寺に行ったとき、印象の最も深かったのは、あの大きいわらじです。上野のたくさんの屋台のような町並みも、とてもおもしろかったです。またある化粧品店で、日本の販売量第1の化粧水を買いましたが、残念ながら買ったのが少なくて、もっとたくさん何本も買えばよかったです。秋葉原では、電子製品とアニメ・漫画のビルは1棟1棟続いていて、



私達はPS3といくつかアニメ・漫画の人形を買いました。街頭でコスプレの女の子が宣伝をして、とても面白いです。東京駅は本当に大きくて、すべての路線がここで交差しています。10線以上の地下鉄路線があったり、たくさんの列車の路線があるのですが、少しも乱れていません。必要なのは路線名の表示だけで、利用する路線にすぐ乗ることができます。聞くところによると東京駅は外観もとても特徴があることを知りました。が、ちょうど工事中で見ることができず残念でした。私達は皇居を1周歩き、それから新宿にいきました。

新宿にもたくさん大きなマーケットがあり、見て歩いたのですが、あまり買いませんでした。でも小田急の食品売場ではたくさんものを買って、みんなおいしかったです。日本の食品はとてもおいしくて、包装はとても精緻ですが、一袋ごとの量が少なくて、価格が人民元に換算すると、すべてとても高いです！渋谷109は日本の流行の達人がよく出没するところで、一日中いたら美しいものばかりで、かえって疲れるようです。また、私がどうしても欲しい、というものはあまりありませんでした。東京タワーでは、初めて夕日を眺め、見渡す限りの星明かりを見ることができました。



京都では、東京のように緊迫(緊張)しているリズムがなくて、街の人々はいくらか少なくなり、その分多くなったのは、静けさで、古風で質朴です。それぞれの寺院や古代建築は人々の生活の中に溶け込んでいて、数百年の時が流れ、古い建築物は大切に守られ、人々に古代の日本を経験させています。私は多くの古代建築の漆が橘紅色になっているのを発見しました。古代建築がこのような色になることを私はいままで知りませんでした。時が経った将来の人々は、この色が更に吉祥を明らかに示すことができると感じるのだろうか、私はいかえって、木のもとの色や香りを感じることができそうな気がしました。

京都の神社で、私は初めて日本人の参拝の方法を知りました。先にお金を柵のついた賽銭箱の中に投げ込んで、鈴を揺れ動かし、それから2度お辞儀をして2度手をたたいて再びお辞儀をします。鈴を揺れ動かすのは、神霊が彼らの祈祷を耳にすることができるように、と望むのでしょうか？私は1人の中学(高校)生ぐらいの男の子が参拝に来ているのを見かけました。受験をして理想的な学校に入るように神様が守ってくださることを祈りに来ているのだろうか、と想像してみました？希望の内容がなんでも、すべて、彼の夢がかなうことを祈ります。

今度の6日間の日本の旅、順調に終わりますように。そして、とても楽しく過ごせ、私達をお助けくださったことにお礼を言いました。すべての善良で、根気強くて、親切な日本の友達。私は京都の古典が好きで、東京の現代的な素早さが好きです。

また、再度日本に行くことができますように！